

片倉小十郎景綱

白石市教育委員会ご依頼 木彫像修理及び複製



修理前

さて再び、片倉小十郎景綱、幼少の伊達政宗の傅役として仕え、その後家老となった人物ですが、今回は、木彫像（石巻市耕徳寺蔵）の修理とレプリカの製作を行いました。

レプリカ製作作業に先立って現品を調査したところ、鼻先や烏帽子の一部が失われ、右腕の材が遊離、表面に貼り込まれた和紙も剥落が見られる上、像全体に強い汚れが付着していました。

作業に耐えうるだけの構造上の強度を回復するため応急の修理をすることになりましたが、せつかくの機会なので所蔵者の方に尊容を回復するための修理もしてはどうかとご提案したところ、ご快諾いただき正式な修理をすることになりました。

片倉小十郎景綱

木彫像の修理とレプリカの製作



修理後

修理の内容としては、亡失した鼻先と烏帽子の部材の新補、右腕の接着、和紙の剥落止めと補紙、全体のクリーニング、補彩などです。

修理が完了した後型取りをし、レプリカ製作作業に入りました。この像は玉眼が嵌められていたため、頭部をいったん分割する必要がありました。実物の頭部はしっかりと接着されているため一体で型を取り、樹脂で成型してから頭部を切り離し、再接合のための細工をします。眼球（実物は水晶）の曲面に合わせアクリル板を加工したものに内側から瞳を描き、実物と見比べて微調整をしますが十分の一ミリ以下の誤差でまなざしの表情がすっかり変わってしまうため、非常に神経を使う作業です。

それを裏から綿を当てて固定し頭部を閉じてから彩色し、体と頭部を接合、全体の彩色が済んでから台座との接合と、彩色と接合を繰り返して完成しました。

文化財の保存と複製

— ニューズレター —

VOL. 12 / November

2009年11月



レプリカ:右

■白石城歴史探訪ミュージアム:

<http://www.shiro-f.jp/shiroishijo/10.html>

■仙台市博物館:

<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/guide/index.html>

白石城歴史探訪ミュージアムでは、十月一日から「片倉小十郎景綱画像」「片倉小十郎景綱木彫像」の複製品を公開展示しています。お近くにお寄りの際は、ぜひお立ち寄りください。

今回は、協議の上、展示の目的に不必要な染みや亀裂はやや軽減した仕上がりとなりましたが、所蔵者ならびに発注者の方々には大変喜んでいただきました。弊社ならではの修理と複製の技術の連携によって重複する作業や移動を軽減し、資料の保存と活用に貢献する好例に加えられる仕事になったと思います。

— 京都科学・和久田優子 —

